

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 こどもたちを取り巻く環境	2
1. こどもたちの生活状況	2
2. 学校現場が抱える問題	2
3. 家庭の教育力の低下	3
4. 地域の教育力の低下	3
第2章 地域の教育力をリードすべき公民館の可能性とその危機的状況	5
1. 公民館の潜在的な力	5
2. 公民館の危機的状況	5
第3章 解決しなければならない課題	8
～将来を担う子ども達のために～	
第4章 政策提言	8
【提言1】「地域おむすび隊」による	
～地域で遊ぼう、来ないなら呼び行こう！～ 事業	8
【提言2】「家庭教育支援コーディネートセンター」の設立	11
終わりに	14

提言の要旨

学生ボランティアを利用した 公民館による家庭と地域のコーディネートセンター
 ～「地域おむすび隊」が橋渡し！～

【地域が抱える課題】

- ①子どもたちの生活状況の変化と学校現場が抱える問題
- ②家庭と地域の教育力の低下
- ③地域の教育力をリードすべき公民館の可能性とその危機的状況



【地域の3アップ】

- ①子ども達が魅力を感じる近所力アップ！
- ②本当は悩んでいる親たちの安心力アップ！
- ③地域をむすぶ公民館力アップ！



【提言1】 「地域おむすび隊」による ～地域で遊ぼう、来ないなら呼びに行こう！～ 事業 公民館と家庭をつなぐための学生ボランティアの活用！

学生ボランティアの役割（公民館・地域と家庭の橋渡し役）

- (1) 子どもを地域で遊び、学ばせる
 - ・子ども一人（一家族）に、地域おむすび隊メンバーが一人貼り付く
 - ・地域内での遊びを身体で覚えさせ、担当の子どもを家まで送る
- (2) 子ども達の親を地域へ引っ張り出す（家族との交わり→信頼関係の構築）
 - ・保護者に顔を出し信頼関係を構築する
 - ・子育てについての良き相談相手になる
 - ・コーディネートセンター事業のPRや一緒に行事参加をする



【提言2】 「家庭教育支援コーディネートセンター」の設立

